

2022年9月1日

## 第3回全国地区ローターアクト委員長及び地区ローターアクト代表 合同会議報告書

理事長 上山昭治  
副理事長 水野 功  
RA 支援 PJ 委員会

1. 日 時 : 2022年8月7日(日) 14:00~17:00
2. 場 所 : ZOOM 会議室 :
3. 参加対象 : 2022-23年度の地区 RA 委員長、地区 RA 代表  
RIJYEM 関係者(理事、社員、AD、研修部門委員)
4. 会議次第 : (総司会 : 岡田雅隆 RA 支援 PJ 委員)
  - 13:30~ ZOOM 受付
  - 13:55~ 開催5分前諸事お知らせ
  - 14:00~14:05 開会の挨拶
  - 14:05~14:15 地区リーダーより RA へのメッセージ
  - 14:15~14:35 各地区 RAC より活動報告(2600,2620,2660,2750,2840)
  - 14:35~16:05 分科会に分かれてグループディスカッション
  - 16:05~16:30 分科会報告(記録発表者: RA)
  - 16:30~16:55 質疑応答
  - 17:00 閉会の挨拶
5. 報告書目次
  1. 開会の挨拶 : 副理事長 水野 功
  2. 地区リーダーより RA へのメッセージ : 第3地域 RC 滝澤功治
  3. 議題ディスカッションからの考察 : RA 支援 PJ 委員 鈴木宏美
  4. RIJYEM からの提案・提言
  5. 閉会の挨拶 : 副理事 神野重行
6. 資料
  - 01) 会議参加名簿 : (分科会ルーム構成表)
  - 02) 分科会ルーム意見まとめ
  - 03) RAC 会員数増強拡大目標値の提言
  - 04) 全国 RAC アンケート結果
  - 05) 各地区 RAC の活動報告

## 1. 開会の挨拶：

RIJYEM 副理事長水野 功 (RA 支援 PJ 担当)

本日の会議は当初対面開催予定でしたが、急遽 ZOOM に変更させていただきましたにもかかわらず、74 名ものご登録を頂きありがとうございます。

ローターアクトクラブが青少年プログラムから外れ国際ロータリーの加盟クラブに含まれることとなりました。それを受けまして、今年 2 月 6 日に第 1 回全国 RA 委員長・地区 RA 代表による合同会議を、RIJYEM の支援 PJ として開催しましたところ、もう少し詳しく双方の理解・情報共有したいというご要望がたくさんありまして、第 2 回を 4 月に開催させていただきました。6 月には三木 TRF 財団管理委員のご助言もあり、クラブ活性化に向けて地域リーダーであるロータリーコーディネーター、アシスタントロータリーコーディネーターの方々とローターアクトクラブへの対応について一度協議をしましょうということで 6 月に協議をさせていただきました。その時に話が出たのは、ロータリアン、そしてローターアクト相互の理解不足、情報不足ということが一番深刻だということで、今後は情報を共有していく努力をしていくことがまず何よりも必要だと、またスポンサークラブも含めて意識を共有していく必要があるという話になりました。

今回、第 3 回全国 RA 委員長・RA 代表合同会議を開催する運びになりましたが、ローターアクトのほうからも様々なご要望がありまして、ガバナーエレクトが受ける GETS のようなものをローターアクトにも必要なのではないかなというご提案をいただいております。その辺諸々の情報共有していくことで、今日は分科会を開催させていただきますのでロータリアン、ローターアクト共に率直な意見交換をしていただきたいと思います。

それでは RIJYEM からのお知らせということで、私はいま RA 担当の副理事長をさせていただいております。研修委員には D2680 黒田様、田中様、D2760 岡田様、高木様が今までロータリアンとしてお手伝い頂いておりますが、本日この後司会進行をお願いしております D2580RA でありパスト地区代表の鈴木宏美さんにもこの RIJYEM 研修委員のメンバーとして加わっていただく事にさせていただきました。後ほど鈴木さんの司会進行の時にひとこと挨拶させて頂くと思いますが、そういう意味で RA の方にも研修委員の一員としてご活躍いただくことになりましたのでお知らせをさせていただきます。

それでは長い時間になりますけれども建設的なご議論を頂きますことをお願い申し上げます挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

## 2. 地区リーダーより RA へのメッセージ：

第3地域ロータリーコーディネーター滝澤功治（RIJYEM 理事）

皆さんこんにちは。

ただ今ご紹介いただいた、第3地域ロータリーコーディネーターを務める滝澤です。第2680地区、兵庫ですが、神戸須磨ロータリークラブの所属です。

一言ご挨拶をさせていただきます。

本日は、第3回全国ローターアクト委員長及びローターアクト代表合同会議にたくさんの方にご出席いただきありがとうございます。

ローターアクトは2019年の規定審議会でRIへの加盟が承認された、単純に言えば、私たちのロータリークラブと同じ立場でRIの一員になったということですが、もうそれから3年が経過しました。今回3回目となるこの会議が行われることはその意味で有意義なものと思います。

本日のこの会議には、第1, 2, 3地域のロータリーコーディネーターとロータリーコーディネーター補佐がファシリテーター役として出席しています。このことについて少しお話ししますと、ロータリーは全世界を41の地域に分けていますが、日本の34地区は第1地域、第2地域、第3地域と3つの地域に所属しています。そして、各地域には、地区の枠を越えて地域全体を支援する地域コーディネーターとして、ロータリーコーディネーターや公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターなどが置かれています。

このうち、私たちロータリーコーディネーターの役割は、第1に会員増強、そして次に新クラブの設立です。この「会員」といい、「新クラブ」というとき、対象は当然ロータリークラブを指していました。しかし、2019年にローターアクトクラブがロータリークラブとともにRIの構成員になってからは、ローターアクトクラブの会員の増強、新クラブの設立もロータリーコーディネーターの役割に加えられたというべきでしょう。したがって、本来であれば私たちロータリーコーディネーターがもっとローターアクトクラブの中に入っていかねばならないのですが、残念ながらそこまでは力が及ばず、ローターアクトクラブに対して十分な支援ができていないのが実情です。そこで、その支援の取組の一環として本日の会議に出席している次第です。

さて、皆様の地区では、ローターアクトクラブについてどのような話し合いが行われてきたのでしょうか。

よくRIの指導者は、ローターアクトをめぐる状況の変化について語るとき、「Elevate Rotaract」という言葉を用います。ローターアクトを「格上げしよう。その地位を向上させよう」ということでしょうか、私はこの言葉を聞いたとき、「いい得て妙だな」とも思います。と言いますのは、Elevateと言えはエレベーターを連想しますが、エレベーターはひとたび乗り込めば、私たちの身体をあっという間に10階、20階の高みに持ち上げてくれ



ます。国際大会などで目にする外国のローターアクトは、本当にのびのびと活発に活動し、おそらく一気にそのような高みに持ち上げられても、その新しい環境の下で更なる活動を展開していくのでしょうか。でも、日本のローターアクトはどうでしょうか。私の眼には、多くのローターアクトはそのような状況の変化になじめず、エレベーターに乗っても、どの階のボタンを押したらよいのか、あるいはそもそもエレベーターに乗ってよいのかどうか迷っているようにすら見えます。

これはひとえに、ローターアクトというよりはむしろ私たちロータリークラブの会員の意識がこの変化に追いついていないからだと思います。2019年以前は、ローターアクトはインターアクトや RYLA と同じく、ロータリーの青少年奉仕のプログラムの一つという位置づけでしたから、ロータリークラブ、とりわけスポンサーロータリークラブがローターアクトの活動のすべてに責任を負うものとされていました。しかし、2019年以降、ローターアクトクラブはロータリークラブと同じ立場なのだから、ローターアクトは自らの行動について自らが責任を負担しなくてはなりません。

ロータリーの様々な決まりごとが掲載されている「ロータリー章典」というものがありますが、この中に、ローターアクトの財政について、次のように定められています。

#### 【12.070. ローターアクトクラブの財務】

(1~4 省略)

4. クラブのすべての会計収支について、毎年 1 回、有資格者による完全な監査を行うものとする。

5. ローターアクトクラブのプログラム遂行に必要な資金を調達するのは、ローターアクトクラブの責務である。

(6~8 省略)

(2019 年 10 月理事会会合、決定 57 号)。

#### 【12.080.4. 地区ローターアクトの財務】

1. 地区は、地区ローターアクト委員会の管理運営活動に資金を提供するための規定を定めるべきである。

2. すべての地区ローターアクト活動に要する資金は、その地区のローターアクトクラブが調達するものとする。

(3~7 省略)

(2019 年 10 月理事会会合、決定 57 号)。

このように現在のロータリーは、ローターアクトについて、限定的にスポンサークラブの支援を容認しながらも、基本的にはローターアクトクラブが財政的に自立することを求めています。財政的な自立がなされなければ、意識の面でも自立はできないように思います。

でもこのことを私たちはどこまで理解しているのでしょうか。これをひとりローターアクトの責任と自覚の問題だと片付けてしまうのは誤りであり、私たちロータリアンも含め、ロータリー全体で取り組み、認識を深め、一步一步着実に、そして確実にローターアクトの

地位の向上を実現しなくてはならないと考えます。

ローターアクトクラブは、「若い成人のクラブ」と定義されています。私たちがローターアクトに期待しているのは、今までのロータリークラブでは及びもつかないような、若い人のアイデアと創造力にあふれた、若い人でなくてはできない活動をするクラブです。決してロータリークラブのコピーであるとか、その縮小版のような「ミニ・ロータリークラブ」ではありません。ローターアクトクラブの若い人たちが、その知性とあふれる体力を生かして、活発に奉仕活動を展開するクラブであってほしいと思います。そういうクラブを支援するがロータリークラブの役割だと思っています。

本日の会議ではそう意味で実のある議論ができればと思います。ありがとうございました。

### 3. 議題ディスカッションからの考察

#### 議題 1. スポンサークラブや地区委員会との関係性はどのようになっていますか。

イ) スポンサークラブとの関係性については、今までと変わらないという意見が大多数を占めていました。スポンサークラブとの関わりが密なクラブ、関わりが薄いクラブと2極化していることが分かりました。

ロ) 地区委員会にローターアクターが入っているという地区が多く、規定変更前よりも情報共有・連携が密になっている地区が多いことが分かりました。

ハ) ローターアクト委員会は青少年奉仕部門から外れているものの、青少年奉仕委員会の中の1つの委員会として位置付けが変わっていない地区もありました。また組織図上、ローターアクト委員会がガバナー直下になっているものの、制度などは特に変更していないという意見が多く出ていました。

#### 議題 2. ガバナー、地区 RA 代表間で RC・RA の活動について意見交換が出来ますか？

イ) ローターアクト代表に事前アンケートにご協力いただき、18地区に回答いただきました。ガバナーと地区 RA 代表間で意見交換ができているという地区は約6割でした。詳細は資料04をご参照ください。

ロ) ガバナー・地区 RA 代表間での意見交換の機会や頻度は年度によって異なっており、「地区の戦略計画や中長期計画の中に RA との関係性を明確に明示する必要があるのではないか」という意見も出ていました。

ハ) 地区 RA 代表が決まるのは、早い地区でも2年前、大多数が半年から1年前に決まります。そのため意見交換や情報共有をする時期が、年度の始まる数ヶ月前という状況になっており、中長期の話し合いができていない地区が多いと感じました。



**議題 3. 活動費を自分たちで賄っているクラブは地区内にありますか? (RC からの補助は除く)**

イ) クラブや地区にもよりますが、大多数のクラブがスポンサークラブからの補助金と会員の年会費で活動費を賄っていました。

ロ) 自分たちで活動費を賄っている事例 (アクターの会費以外) としては、2580 地区 RA・2630 地区 RA・2710 地区 RA・2780 地区 RA ではフリーマーケットの収益を活動費の一部にされています。また 2660 地区 RA は地ビールを作りチャリティー販売しており、収益を活動費の一部にされています。2750 地区 RA ではチャリティーイベントの売上を活動費の一部にされています。

ハ) 人頭分担金については、会員からの年会費もしくはスポンサークラブから捻出している地区がほとんどでした。

**議題 4. RAC がグローバル補助金を知る機会がありますか?またグローバル補助金を申請しているクラブはありますか?**

イ) グローバル補助金を知る機会がないという声が半数以上を占めていました。アンケートの結果からも約 7 割の地区でグローバル補助金を知る機会がないという回答をいただいております。

ロ) ローターアクターがグローバル補助金を知る機会としては、ローターアクトの例会に参加されているロータリアンからのご説明や財団セミナーにローターアクターが参加できる地区も数地区ありました。

ハ) グローバル補助金を現在申請している地区としては 4 地区ありました。(2660 地区 RA・2790 地区 RA・2820 地区 RA・2840 地区 RA)

**議題 5. 30 歳の年齢制限が撤廃されましたが、30 歳以上の会員はクラブに残っていますか?**

イ) 30 歳の年齢制限が撤廃されたものの、30 歳でローターアクトを卒業されているというご意見が大多数を占めていた。事前アンケートの結果も全体の約 4 割が規定変更前の年齢制限である 30 歳から変更していないという結果でした。

ロ) 35 歳、40 歳と年齢制限を引き上げた地区の理由としては大きく 2 つ意見が出ました。1 つは、20 代後半で入会したローターアクターが活躍できる機会を増やすため。2 つ目は、会員数が減少しているクラブで運営を成り立たせるためです。

ハ) 30 歳でローターアクトを卒業する背景としては、30 歳というゴールがあるから頑張れるという意見がございました。また、30 歳から 40 歳という年齢が、結婚や子育てなど忙しくなる時期であることが大きいかと思えます。

(文責 : RA 支援 PJ 委員 鈴木宏美)



## 4. RIJYEM からの提案・提言

### イ) RA 合同会議の定例化

RA 合同会議とは、地区 RA 委員長・地区 RA 代表及び地域・地区リーダーの方々がテーマを通じて討議し、各人が発信する情報の共通認識や有用な情報の水平展開を加速させることを目的としています。

今回は第3回目の合同会議で都度の開催でしたが、これを定期的な開催とすることにより、会議の目的をより効果的に達成できることが期待できます。開催時期は、上期・下期の2回開催とし、地区内が落ち着いた9月と、国際協議会終了後の新年度に向けて動き出す2月にすることを提案します。

### ロ) 全国 RAC 会長・幹事のメーリングリスト整備

情報の同時水平展開をするために、現在の地区を中心としたメーリングリストを、一歩進めて、RAC の会長・幹事まで含めることを提案します。

現在は、地区で一旦ストップし、その後地区より RAC に配信する形となっております。メーリングリストを整備することによって、情報の同時水平展開をはかります。

### ハ) 全国 RAC の HP 設置

RIJYEM の HP の一角に、RA のページを設置することを提案します。

主な目的は、RA に係る情報発信と DATA の保管です。

### ニ) RAC の R 財団補助金申請セミナー開講

RA 合同会議に R 財団関係者を迎え「R 財団セミナー」をテーマとした会議の開催を提案します。R 財団情報は、全体の仕組みと実際の申請など当事者でなければなかなか理解できないと言われておりますので、ケーススタディーを主体とします。

## 5. 閉会の挨拶：RIJYEM 理事神野重行

ただいま、ご指名をいただきました D2760 神野重行です。今日は 2022-23 年度最初の全国 RA 委員長・地区代表合同会議、日曜の午後3時間にわたる ZOOM 会議お疲れ様でございました。

この会議は RIJYEM として開催3回目ですが、これまでの経験と検証を踏まえまして初めて RA 皆さん主導で開いたということで大変画期的なものになったと思います。74 名という Zoom 参加でこれだけスムーズに進んだのは私の経験も初めてで、改めて RIJYEM 研修委員をお願いしました鈴木宏美さん、分科会の書記・発表役を務めていただきましたローターアクターの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

3 年前の RI の組織規程の改正からロータリーが RAC をロータリアンと同等というか、ちょっと言い方が悪いですが一人前として考えるようになったわけですが、今年度は実質最初



の実行年度と言えらると思っております。ただ今まで議論の中にもございましたように我が国ではまだまだほとんどの地区でローターアクトクラブはロータリークラブが面倒を見るものという感覚になって、RACがスポンサーRCにおんぶに抱っこのような状況が多かったと思ひます。その点、今日参加させていただきました私を含め、20地区のRA委員長や委員の皆さん、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクトの方々も、我が国でもRAのロータリーに対する認識や意識は私共ロータリアンが思っているところを遥かに超えたレベルにあるということも知っていただいた ZOOM ミーティングだったのだと思ひます。

今日のようなロータリアンとローターアクターがお互いにもっと交流を深めて、理解も深め、一緒にロータリーの理念を勉強していくことが自分たちの成長とロータリーの発展につながることを思っております。

今日の合同会議をきっかけにして各地区、各クラブ、そしてロータリアンとローターアクターの交流が深まって、お互いに刺激し合って素晴らしいロータリー活動が広がっていくことを祈念して、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。





## 資料 01

会議参加名簿：(分科会ルーム構成表)

敬称省略・順不同

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
1	1	A	2790	橋岡久太郎	Rtn	第1地域RC	FT
2	2	A	2580	春木優杏	RA		書記&発表
3	1	A	2840	片桐正人	RA		
4	3	A	2710	中野譲	Rtn	ローターアクト委員長	
5	1	A	2800	依田聡	Rtn	ローターアクト委員長	
6	1	A	2510	松浦光紀	Rtn	ガバナーエレクト	
7	2	A	2760	岡田雅隆	Rtn	RIJYEM研修委員	
8	1	A	2530	佐藤正道	Rtn	ガバナー	

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
9	1	B	2770	中里公造	Rtn	第1地域ARC	FT
10	2	B	2620	富永里紗	RA	ローターアクト委員長	書記&発表
11	1	B	2820	吉川佳佑	RA	地区 RA代表	
12	3	B	2720	膳所和彦	Rtn	ガバナーエレクト	
13	1	B	2500	中川雄策	Rtn	ローターアクト委員長	
14	2	B	2630	青山正生	Rtn	ローターアクト委員長	
15	1	B	2570	高丹秀篤	Rtn	ガバナーエレクト	
16	3	B	2670	八田光	Rtn	ガバナー	
17	3	B	2680	三木 明	Rtn	RIJYEM顧問	

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
18	1	C	2510	福井敬悟	Rtn	第1地域ARC	FT
19	1	C	2770	山家汐理	RA		書記&発表
20	1	C	2500	高嶋修平	RA		
21	2	C	2620	影山忠弘	Rtn	次期地区幹事	
22	1	C	2790	鶴沢和広	Rtn	ガバナーエレクト	
23	3	C	2690	石倉貞昭	Rtn	ガバナーエレクト	
24	2	C	2750	水野功	Rtn	RIJYEM副理事長	挨拶
25	3	C	2650	岡本政明	Rtn	地区ローターアクト委員長	



NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
26	2	D	2620	野口英一	Rtn	第2地域RC	FT
27	2	D	2590	中村琴美	RA	地区RA代表	書記 & 発表
28	2	D	2600	草間可南子	RA		
29	3	D	2730	吉留幸文	Rtn	ローターアクト委員長	
30	1	D	2830	柴田文彦	Rtn	地区委員長	
31	2	D	2610	黒川伸一	Rtn	ガバナー	
32	3	D	2680	田中賢一	Rtn	RIJYEM研委/RA委員長	
33	1	D	2560	安田佳世	Rtn	ローターアクト委員	

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
34	2	E	2630	辻正敏	Rtn	第2地域ARC	FT
35	3	E	2710	板井貴大	RA		書記 & 発表
36	3	E	2690	友末誠夫	Rtn	地区ガバナー	
37	1	E	2790	野本茂雄	Rtn	ローターアクト委員長	
38	2	E	2620	生子哲男	Rtn	地区諮問委員会委員/ローターアクト委員長	
39	3	E	2670	夏見良宏	Rtn	ガバナーノミニー	
40	3	E	2660	間石成人	Rtn	RIJYEM研修部門委員	
41	1	E	2770	星野晃一郎	Rtn	RIJYEM研修部門委員	

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
42	2	F	2580	若林英博	Rtn	第2地域ARC	FT
43	1	F	2790	川名清登	RA		書記 & 発表
44	3	F	2640	高橋成基	RA	地区代表	
45	2	F	2610	中島史享	Rtn	委員長	
46	1	F	2830	築館智大	Rtn	ガバナーエレクト	
47	2	F	2780	佐藤祐一郎	Rtn	ガバナー	
48	2	F	2630	篠原一行	Rtn	ガバナーエレクト	
49	3	F	2660	片山勉	Rtn	RIJYEM副理事長	



NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
50	3	G	2680	滝澤功治	Rtn	第3地域RC	FT・挨拶
51	2	G	2620	稲葉徳磨	RA	地区RA代表	書記&発表
52	3	G	2660	本田丈歩	RA		
53	1	G	2820	保延輝文	Rtn	PG	
54	2	G	2780	角井駿輔	Rtn	ローターアクト副委員長	
55	1	G	2570	日向秀一	Rtn	ローターアクト委員長	
56	2	G	2760	高木政義	Rtn	RIJYEM研修部門委員	
57	3	G	2680	黒田建一	Rtn	RIJYEM研修部門委員	

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
58	3	H	2650	中川基成	Rtn	第3地域ARC	FT
59	2	H	2750	劉韋岑	RA		書記&発表
60	2	H	2750	富澤為一	Rtn	ガバナー	
61	3	H	2660	近藤眞道	Rtn	Rijyem アドヴァイザー	
62	3	H	2660	伊藤勝彦	Rtn	ローターアクト委員長	
63	1	H	2550	松山栄	Rtn	ローターアクト委員長	
64	1	H	2500	吉田潤司	Rtn	22-24rijyem社員	
65	1	H	2820	安 圭一	Rtn	地区ローターアクト委員長	

NO	地域	分科会	D	氏名	区分	地区の役職	役割
66	3	I	2690	庄司尚史	Rtn	第3地域ARC	FT
67	3	I	2650	吉岡 毅	RA		書記&発表
68	3	I	2720	中山諭扶哉	Rtn	ローターアクト委員長	
69	1	I	2510	高橋耕	Rtn	ローターアクト委員長	
70	2	I	2760	神野重行	Rtn	RIJYEM理事	挨拶
71	3	I	2700	青屋信作	Rtn	委員長	
72	1	I	2500	SACHIKOHIS	Rtn	ガバナー	
73	2	I	2590	八尋匡彦	Rtn	地区ローターアクト委員長	

74	2	free	2580	鈴木宏美	RA	パスト地区代表	各分科会見回り
----	---	------	------	------	----	---------	---------

## 資料 02 : 分科会ルーム意見まとめ

分科会ルーム意見集約 (A・B・C・D・E・F・G・H・I) (敬称略)

- A ルーム : FT : 1 RC 橋本久太郎、発表者 : 春木優杏 RA
- B ルーム : FT : 1 ARC 中里公造、発表者 : 富永里紗 RA
- C ルーム : FT : 1 ARC 福井敬悟、発表者 : 山家汐里 RA
- D ルーム : FT : 2 RC 野口英一、発表者 : 中村琴美 RA
- E ルーム : FT : 2 ARC 辻 正敏、発表者 : 板井貴大 RA
- F ルーム : FT : 2 ARC 若林英博、発表者 : 川名清登 RA
- G ルーム : FT : 3 RC 滝澤功治、発表者 : 稲葉徳磨 RA
- H ルーム : FT : 3 ARC 中川基成、発表者 : ウイルソン劉 RA
- I ルーム : FT : 3 ARC 庄司尚史、発表者 : 吉岡 毅 RA

### 議題 1. スポンサークラブや地区委員会との関係性はどのようになっていますか。

**A:**

- ・2530 佐藤 DG : 地区委員会に RA が出向。その他も含めて 10 名を希望していたが、現在 7 名が出向。
- ・委員会活動や各種セミナーに参加してもらっている。ロータリアンと非常に打ち解けている。
- ・ガバナー公式訪問を RAC にも実施する予定 (現在調整中)
- ・会員増強についてはあまりロータリーをあてにしないでほしいと考えている。仲間を自らで見つけてほしい。
- ・2840 片桐 DRR : 地区には RA から地区代表や役員経験者が 2 名出向。ロータリーからも連携を求められている。
- ・2580 春木 DRR : 地区 RA 委員会・地区 DEI 委員会にそれぞれ春木・鈴木が出向。加えて、これまでは青少年奉仕委員会 > 地区 RA 委員会という組織構成だったが、今年度はガバナー直属の委員会になった。
- ・2710 中野委員長 : 地区協議会にて、青少年奉仕委員会 RA の活動方針を伝える中で、板井 DRR に参加していただき、昨年度の報告に加えて今年度の方針を発表していただいた。しっかりロータリアンからの質問にも答えられていた。引き続きロータリアンからのフィードバックを活動に還元していきたいという話もあった。
- ・2800 依田委員長 : PDRR・IPDDR・DDR の 3 名が地区委員会に入っている。(地区副幹事・青少年奉仕委員会×2 名)
- ・IA→RA、米山→RA という流れがある。しっかり保っていきたい。
- ・2760 岡田研修委員 : 2760 地区は 9 クラブ、それに対してスポンサー RC は 42 クラブ (地区内 RC の約半数)。一番話がしやすいのはスポンサー RC。
- ・19 年の COL 以降、様々な変更がされているがスポンサー RC・RAC も含めて勉強会がま



だまだ不足している。

・地区 RA 委員会は、ロータリアン・ローターアクターの人数が同数…などという奨励もある。"

**B:**

- ・スポンサークラブと地区委員会に相違がある
- ・7 RAC あったのが 5 RAC になったという報告のみ受けた、関係性がよくわかっていない  
→地区の委員にアクトいない これから勉強していく
- ・イメージを持っていない  
→ぜひアクトに委員会に入ってもらって声を大きくしていただきたい、次年度
- ・情報を持っていないが、今年度アクトを地区委員会 1 名入れた、次年度もそうしたい
- ・アクトに詳しいクラブに教えてもらっている、地区とスポンサークラブの関係は良好である
- ・昨年度から代表・幹事・エレクトが地区委員会に入るようにしている、アクターとロータリアンで委員会を行っている
- ・昨年度から代表を委員会に入れている  
→各 rc から地区へ報告ができています、各 RAC とも連携が取れている、定期的に会議を行っている、関係良好
- ・今年度は良好だとおもう。しかしこの状況を次年度につなげられるかどうか
- ・委員会活動や各種セミナーに参加してもらっている。ロータリアンと非常に打ち解けている。
- ・ガバナー公式訪問を RAC にも実施する予定（現在調整中）
- ・会員増強についてはあまりロータリーをあてにしないでほしいと考えている。仲間を自らで見つけてほしい。

**C:**

- ・2770：クラブによりけり。対等だったり上下関係があったり。
- ・2500：地区では関係は良好。スポンサーRC と RAC はクラブによりけり。クラブの活動状況がスポンサーRC に伝わっていなかったりするクラブもある。
- ・2620：地区は RC と RAC で合同委員会という形になっている。ただコロナで活動の方針は見えていないところもある。クラブによっては RAC のことをよく理解していないところもある。RA 委員会はガバナー直結になった。
- ・2790：RAC の活動を見に行くというクラブも出てきた。地区では
- ・2750：クラブによりバラバラ。地区では RA 委員会がガバナー直結になった。
- ・2650：RA は青少年奉仕委員の中にある。地区では RC と RAC が合同で委員会を構成している。クラブ間の関係はクラブ次第だが、非常に勉強していてアクトへの支援話など検討しているクラブもある。

**D:**

- ・コロナの蔓延もあり、5 年ほど前と比べてみんなのコミュニケーションが薄くなっている現状。
- ・オンライン機能が出始めて、外部の方も集まりに参加しやすく、とても便利だが、コミ

コミュニケーションは薄れる。

- ・集まりのオンライン化の他、コロナで懇親会ができず、そもそもお話する機会が減った現状。今後は関係性をより深く理解すべき。
- ・プラスな意見もあり、今まで以上にロータリーに対して支援的になったり、インターアクターやローターアクトの地区行事でスポンサークラブや地区委員会と挨拶兼ねて雑談できることもある。
- ・全体的に見て、関係性はいいがコロナにはあらがえない現状。

#### E:

- ・北條 大学系のRACが多く、コロナで出席率が下がっている。その結果、大学RACが2つ終結。年4回の会長幹事会・奉仕活動への参加、活動資金の提供。来年度からガバナー直営の委員会とすることになっている。
- ・野本 RACスポンサーRC以外のRCの認識が低い。なので、関係性も希薄。地区のRCと共通で奉仕活動を実施する事を検討している。
- ・夏見 各県持ち回りで交流会を行っている。
- ・間石 ローターアクトと関わったことがない。積極的にやっている認識。
- ・星野 北条さんと一緒
- ・板井 スポンサークラブとは関係性はある。地区委員会とは関係性が希薄となっている。

#### F:

- ・毎回例会に参加。委員にアクト会員。行事への参加。
- ・関係は良好。認識の違いが出てきている。高橋
- ・委員会に委員に入っていない。現状、スポンサークラブがつながりがある程度。築館
- ・委員長が共同代表。一年交代なので継続性がない。佐藤
- ・委員長だけが関わりがある。次年度以降はもっと交流を。篠原
- ・関連でいうと薄い。改善していくべき。片山

#### G:

- ・地区 RA 委員会にローターアクトも参加→情報共有・交流を円滑に行うことができている  
 ロータリアンより：アクトとの距離感、コミュニケーションには課題がある？ 地区間・クラブ間で差はある
- ・役員同士の連携をとれる体制は取れつつある
- ・My Rotary の活用を！！
- ・スポンサークラブとの関係：例会の案内、出席頻度
- ・例会・・・自分たちの活動を知ってほしい。援助してほしいというアピールの場  
 アクト側からの要求も具体的にすべきか
- ・アクトの活動に対して 共同参加、フィードバック等を受ける機会の増加を

#### H:

- ・2750：RAは青少年奉仕委員会から外したが、ほとんどのRCはまだRACを青少年奉仕委員会中に入れていた現状。RACの位置づけ変更されたが、スポンサークラブとして今後どう活動するかは模索中。

- ・ロータリーファミリーとの繋がりを強化し、会員増強につながるようなこと。ただ、資金については、RAC は独立できないと考えているので、補助は引き続き支援しています。
- ・2660：ローターアクト委員会は青少年奉仕委員会から外しましたが、まだ青少年奉仕委員会の一環になっている状況。地区 R と RA の関係については、アクターを地区に出向しています。地区の研修行事についても、アクターを参加しています。スポンサークラブとの関係性については今までととくに変更なし。(補助金、承認審議制度等)
- ・2650：ローターアクトクラブの位置づけを強化することは 2, 3 年前から行い始めました。(アクターの出向)。地区のセミナーや RA と関係ある会合に参加してもらうようにしています。スポンサークラブとの関係性については、23RAC がある中程度さあるが、ほとんど関係性は強いと感じる。
- ・2550：2021 年 7 月から組織を変えました。ガバナー直下にローターアクト委員会がある。仕事の関係で会議はすべて平日夜にオンラインで行う(地区、ガバナー、スポンサークラブ、アクター共に)。日本と世界他の RAC の考え方等が違うところあるため、組織図上は変えたが、制度等は今までととくに変更なし。
- ・2500：アクター 2 人地区アクト委員会に出向。8 分区(グループ)にアクターも入れて、公式訪問等各 RC を回すときにアクトについても説明する。アクトクラブなので会員増強についてはアクター自身も課題として意識する必要がある。
- ・2820：ローターアクトの地区代表がローターアクト委員会の正式な委員になりました。方向性がまだ見えていないのでまだ方針等は変更していない。アクター数も減ってきている中自立難しいところもある。MU については、RC と RAC お互いできるようになったので積極的に実行している。IA とのつながりは重要と考えている。若い世代のリーダーを育てるため、IA 卒業生に積極的に RA に参加していただく

## I:

- ・2650：スポンサークラブとの関係性は変わらない。地区 RA 委員会は共同委員長制。今年度から RA と RC の人数を揃える。
- ・2690：クラブ会員数 5 人以下。2 年前に 1 クラブ誕生。地区が力になっておらずスポンサークラブにおまかせという状況。
- ・2700：14 クラブ。3 分の 1 は 5 人以下。地区全体としてのローターアクトクラブという形造りをして引き受ける。地区全体でローターアクトクラブを見ていくという意見あり。柳川は規模の大きいクラブとして市と連携して活動している。
- ・2720：地区 RA 委員会にスポンサークラブの委員長に入ってもらう。地区 RA 代表、直前地区 RA 委員長が入る。スポンサークラブと地区はコンタクトが取れている。
- ・2500：地区 RA 委員会を青少年部門から独立。ガバナー補佐が委員会に入る。スポンサークラブ、ローターアクトクラブ、地区が密に情報交換できるように。地域により RC が複数合同でスポンサーしているクラブもあり。RC には RAC との共同事業をと呼びかけている。
- ・2590：5 クラブ中 4 クラブが 5 人以下。スポンサークラブの青少年奉仕委員長、RA 委員長を地区 RA 委員に。53RC 中 5RC でローターアクトを運営している。
- ・2760：1 番古いクラブで 53 年目、人数は 12 名。地区全体 11RAC (84RC 中 40RC が RAC に関わる)、1RAC に 8RC がスポンサーというクラブもある。名古屋市内の短大にクラブ 50 名を超える会員。インターナショナルのクラブ 20 名程度の会員。RA が自分達の



やりたい奉仕活動に RC が力を貸す。地区 RA 委員会にローターアクターが参加(半数以下)。

## 議題 2. ガバナー、地区 RA 代表間で RC・RA の活動について意見交換が来ていますか?

### A:

・2580 春木 DRR: DRR が早く決まるのが肝要。2580 地区では 2020-2021 年度に DRRE・DEEN を決める制度を導入した。

・加えて財団セミナーや RLI にアクターが参加しやすいように土日開催にさせていただいている。(RLI には昨年度から参加可能になったが、平日開催。参加料は地区 RA 委員会から参加補助を出している)

・ただし、ガバナーの方針は年度によって温度差がある。年度が変わって方針も変わって、これまで得られていた参加の機会が失われてしまうことも危惧される。

・地区の戦略計画・中長期計画の中に、RA との関係も今後明確にしていく必要

・2530 佐藤 DG: DRR が実の息子、親子でやっている。DRR は地区 RA 委員会の共同委員長。

・PETS もセミナーも参加してもらっているので、前年度の時点で地区ロータリーの方針などはしっかり伝わっている。

2840 片桐 DRR: DG と DRR 間の連携は非常に大事だと思っているが。(逆に言うとこれまではできていなかった)

・DRR がいつ決まるかが大事という話があったが、2840 地区は DRR の選出は輪番制で行っている。

・一方で、輪番制度が機能しない(=DRR を出せないクラブがある)のが実情。

・今年度は早めに顔合わせや、DRR からの方針発表などができた。

・古いベテラン会員は青少年奉仕の対象(=ロータリアンにかなり依存する型)の考えもある、入会年度によってかなりこのあたりの感覚が異なる。

・2710 中野委員長: 所属 RC (徳山 RC) でも青少年奉仕に関わってきた。スポンサー RAC (徳山 RAC) の例会に積極的に参加していたが、会員減少は大きな課題。

・今年度の石川 DG は若い世代を大切にされるロータリアン。今年度は一緒に活動をしていこうという意思が強く、RA も参加できる活動を企画してほしいと伝えている。これまで以上の関係性構築に期待ができる。

・2800 依田委員長: DG はもともと青少年奉仕を長年されていたので、RA に対する理解が非常に深い。

・スポンサー RC の中でもあまり関わっていないロータリアンが意外という。

・これまではローターアクターをかなり手放しでやっていた所がある。(逆にその辺りが課題になっている)

### B:

・していない→今度行う

・していない→まず議題 1 をちゃんとできるかどうか

・していない→近々話し合いを行う予定、地区役員 4 名で月一ミーティングしている、ア





クトの意見が出る

- ・ 2年連続代表しているが、月一ガバナーと電話している、会長幹事に月一回出てくれている
- ・ 今年度からガバナーと代表と懇談した、スポンサークラブの公式訪問時にアクト会長と15分懇談の時間をとっている
- ・ 地区委員会と代表は細かく打ち合わせしている、委員長と会長とも話し合っている
- ・ わからず委員長になっているスポンサーRCがいる、お金だすだけではやはりだめだとおもう
- ・ ライジエムなどの会議で知った情報を各RC/RACに伝える場を作る
- ・ ガバナーと代表の対一はやっていない→ガバナーに地区の委員会と会長幹事に年に数回出席してもらって質疑応答している→ガバナーから代表に連絡が取れるようになっていう
- ・ 昨年度初めて会議の場があった、今年度はまだない、次年度はガバナー訪問したい旨ノミニーから聞いている
- ・ ガバナー自身のやる気があればいろいろ可能、ガバナーからアクトに連絡とったらいいと思う
- ・ 今年度アクトの会長幹事界にガバナーが初出席 直接アクトにアドバイスなどした アクトは良い反応
- ・ 加えて財団セミナーや RLI にアクターが参加しやすいように土日開催にさせていただいている。
- ・ (RLI には昨年度から参加可能になったが、平日開催。参加料は地区 RA 委員会から参加補助を出している)
- ・ ただし、ガバナーの方針は年度によって温度差がある。年度が変わって方針も変わって、これまで得られていた参加の機会が失われてしまうことも危惧される。地区の戦略計画・中長期計画の中に、RA との関係も今後明確にしていく必要

**C:**

- ・ 2770 : 現ガバナーとはまったくなし。ガバナーエレクトとは MTG した
- ・ 2500 : ガバナーとオンライン MTG。公式訪問も予定しているので直接話せるかと
- ・ 2620 : ガバナー、PG 数名で資金提供の問題について地区 RA 代表やスポンサークラブ会長も交えて数回話し合いしている。
- ・ 2790 : 今年度のガバナーは公式訪問は予定していない。次年度はある程度まとめてでも訪問したい。
- ・ 2750 : 公式訪問はまだ予定していないのでは。話し合いもこれからかと。ガバナーエレクトは RA 出身で、関係性を強化してくれるのでは。
- ・ 2650 : 数年前から RC が積極的に RAC にかかわってくれている。地区行事にはガバナーが必ず参加。公式訪問は RAC にはしていない。
- ・ 2510 : 今年は公式訪問はないが、昨年は RC と RAC 合同で公式訪問などは行っていた。

**D:**

- ・ RYLA や私たちの地区行事に来てくださった際等、きっかけがないとガバナーとは意見交換はできない現状。

- ・若者に対して積極的なガバナーだと、お話ししやすいが、情報交換用の専用ミーティングをしている地区は見受けられず・・・
- ・ガバナーと地区代表のタイミングが合わないケースのあり、コロナもあるから、『ガバナーと地区代表との専用ミーティング』はできない。

**E:**

- ・野本 積極的に R A C の大切さをガバナーや委員会から話は出ているが、交流は出来てないように思える。会長幹事会等の行事には参加している。
- ・夏見 スポンサークラブとの関係性は多いですが、地区委員会とは希薄。
- ・星野 ガバナーによって差がある。引き継ぎが上手くいっていたらもう少し良かったのでは。
- ・北條 各年度のガバナーによって温度差がある。
- ・間石 ガバナーとローターアクトとの関係性は不明。
- ・板井 ガバナー・地区委員会との関係性は希薄。輩出クラブによって差がある。
- ・地区協議会・年次大会には参加してもらっている。P E T S については強制では無いけど参加しても良いと思う。

**F:**

- ・ガバナーが公式訪問する
- ・セミナーへの参加。グローバル補助金を申請した。多くのロータリークラブと協賛していきたい (片山)
- ・ガバナーとの接点はあまりない。地区大会等に参加してもらっている。(2630 篠原)
- ・今年度はまだできていない (2790 川名)
- ・ガバナー事務所で勤務しているためどの地区よりも交流できている (2640 高橋)
- ・今までのガバナーは積極的に交流していないと思う。大学基盤のクラブをまず作りたいたいと思っている。(2830 築館)
- ・ローターアクト委員会を青少年委員会から独立。委員、委員長にアクト会員を。代表とのコミュニケーションは取れている。全クラブに公式訪問したい。(2780 佐藤)

**G:**

- ・お互いに情報共有はできている
- ・組織単位でなく、個々レベルでの意思疎通も必要 (例: ガバナーエレクトと地区 RA 代表エレクト)
- ・意見交換の場を増やしたり、ガバナーが例会への出席いただく等歩み寄りの姿勢を見せていただいている
- ・ガバナーによる公式訪問 年間日程の中に組み込んでもらえるよう、面談の機会を設ける
- ・ロータリアンだけでなく、アクト側からもアプローチする必要がある。

**H:**

- ・2750: 対面でも、オンラインでも、個別でも意見交換についてはできています。
- ・2660: 正式な意見交換会は特に設けられていませんが、ガバナーと地区 RA 代表とお話

しできる機会は作っています。支援のために何が必要等の情報提供は地区 RA 代表には聞けてます。懇親会等で近い席にして交流しやすくできるようにしています。

- ・2550：ガバナーは常にローターアクトとの会合に参加しているため、意見交換はできています。

- ・2500：地区ローターアクト委員会とのコミュニケーションは行っているが、ガバナーとは特に現時点では行っていません。ZOOM 等のオンライン会議についてはガバナーも誘うようにしたいと思います。

- ・2820：Zoom 等のオンライン会議ではガバナーも招きて開催しています。ガバナーは地区 RA 代表のスポンサークラブ会員のため、交流はできていると思います。

**I:**

- ・2650：年度によって異なる。今年度は年度前から意見交換を実施した。今年度はすでに意見交換という意味でも、地区ローターアクトニュースレタの巻頭でガバナーと地区 RA 代表が対談を行った。

- ・2720：ガバナー・部門長が地区 RA 委員長を経験された方。そのときのガバナー・地区 RA 代表によって付き合い方は違うが非常にガバナーの方々からの RA にアプローチが大きい。地区行事ではガバナーに懇親会まで居ていただいて意見交換している。

- ・2700：ガバナー・地区 RA 代表との意見交換は出来てなかった。今年年明けからガバナー・パストガバナーと RA が会議を行った。ガバナーと地区 RA 代表が並列に組織図が変わった。

- ・2500：地区 RA 委員会が中心になって ZOOM で情報共有をしている。9 クラブのローターアクトの代表者とガバナーが面談をされている。RA 会長幹事懇談会にガバナー出席。目標などをシェア。今後も積極的に実施したい。

- ・2590：ガバナー・地区 RA 代表との意見交換はなかった。今年度は青少年に取り組みたいというガバナーの意向。今後この取り組みを活かしたい。

- ・2760：ガバナー・地区 RA 代表との面談はない。同期ガバナーが刺激しあって欲しい。地区委員会にもアクターの参加を。

**議題 3. 活動費を自分たちで賄っているクラブは地区内にありますか? (RC からの補助は除く)**

**A:**

- ・2840 片桐 DRR：前橋 RAC の会計としては、RC からの補助金と RA の会費などで半々くらい。

- ・地区 RA についてはロータリーのお金をもらっている。(責任者は地区 RA 委員長)

- ・各種行事(地区年次大会など)は独自会計だが、全体的にあまり分離できていない。

- ・2530 佐藤 DG：活動に必要な予算は自ら獲得する必要がある一方で、ほとんどのクラブがスポンサー RC からの補助金に依存している状態。

- ・2710 中野委員長：地区はロータリーから補助金を受け取っている。徳山 RAC は徳山 RC から補助金を受け取っている。

- ・2800 依田委員長：各地区・各クラブ、事務局機能や分担はどうなっているか?



- ・2800 地区は RA 会員の会費+ロータリー補助金という構図だが、後者が多い。
- ・2580 春木 DRR : 自クラブ (池袋豊島東 RAC) はスポンサー RC10 万円+会費 20-30 万円。
- ・東江戸川 (2580 地区) や柏原 (2680 地区) では補助金ゼロとのこと。
- ・一方で懇意にいただいているロータリアンからのニコニコも厚い。
- ・クラブ例会のグレードもクラブによってかなり異なる (ホテルでの会食⇔地域の公民館で行うなど…)
- ・2790 橋岡様 : 東京王子 RAC 時代は完全に自主財源だったが、スポンサー RC のロータリアンの卓話でニコニコを多く募っていた。
- ・2760 岡田研修委員 : 2760 地区は補助金にかなり頼っている。例会も RC と同じくホテルで開催する RAC もあるくらい。
- ・ここ 3 年でかなり環境が変わってきている一方、ロータリアンの考え方は全く変わらない…。
- ・補助金をなくしてほしいといくつかのスポンサー RC に要望を伝えたが、かなり強い拒否感。改善には 5 年以上かかるのでは…。
- ・2840 片桐 DRR : アクターによって活動の目的や経歴が大きく異なる (片桐 DRR の場合はお父様が RT'n だったので、昔から RC 例会に参加)
- ・米山学友の方がお礼を返す意図で、RAC で活動している例も多い。
- ・仮に「補助金 0 にしましょう」としたところで、急に対応・適応できないクラブがいる。
- ・前橋 RAC のように奉仕事業で多くの予算を捻出するクラブもあれば、ホテルで行うスタイルの例会に大半を費やすクラブも奉仕事業に使用するよう地区として奨励するなどの努力は必要。

**B:**

- ・2620 なし→クラブ予算と年会費で賄っている 自分のクラブは全国的にもたくさんもらっている
- ・2820 なし→会員数が少ないからだと思う 30 万超えているクラブが多いと思う 全部使いこなせていない 返している
- ・2670 わからない→が、スポンサークラブの活動費だけでは足りないと行っているクラブがあった
- ・2500 なし→9 クラブ 予算プラス年会費→稚内はアクトに下記の条件で 50 万くらい
  - ①会員数かける年間いくら 3 万かける人数
  - ②事業をするときに予算書を提出して予算をだす
 アクトの方が多いいんじゃないかと問題になっているが、アクトに良い活動をしてもらいたいと思っている、地区だと 20-30 万くらいだと思う
- ・2720 わからない→自分が開くとスポンサーしていない 参考までにインターアクトに 2、30 マン おそらくクラブ予算だしているとおもう
- ・2570 わからない→自分が開くとスポンサーしていない インターアクトには 20 マンくらい アクトの数増やしたと思っている
- ・2630 3 クラブ大学クラブ予算 3 クラブ社会人年会費プラスクラブ予算→自分のスポンサークラブはクラブ予算を出していない 企業からの補助金で賄えている コロナで休止気味 再開したら出すかも



- ・海外は結構自分で賄っているクラブが多い 日本はクラブ予算があるところはおおい→ 会員の NPO 法人とか会社をやっていたり自立したりしているので
- ・地区 RA についてはロータリーのお金をもらっている。(責任者は地区 RA 委員長) 各種行事(地区年次大会など)は独自会計だが、全体的にあまり分離できていない。

**C:**

- ・ 2770 : 数クラブは自分たちで捻出。
- ・ 2500 : 自分で負担しているクラブはない。
- ・ 2620 : RA の実情は不明。
- ・ 2790 : クラブにより年会費で負担。基本的にはスポンサークラブが負担。地区からも一部補助
- ・ 2750 : ほぼ 2790 と同じ、グアムの RA は自分たちでチャリティーイベントや募金などを実施してまかなっている。
- ・ 2650 : 一部は会員で負担、基本はスポンサーから補助、一部地区予算から負担。

**D:**

- ・ロータリーが全額負担してくださるところもあれば、一部自己負担の地区、クラブ内で年会費を払い、その一部を地区に支払って地区役員の活動費にすることも。
- ・大学はクラブ内でクラウドファンディングをしているところもある。
- ・クラブで支払う年会費が高いという意見もあり、それは自身も感じている。
- ・地区によってはクラブ年会費が2万円を超えるところもあるとのこと。
- ・人頭分担金の件は、話が止まっている地区もあれば、クラブ負担のところもある。(やばい)

**E:**

- ・板井 年会費・フリーマーケットで賄っているが、全額はない。
- ・辻 ニコニコ・フリーマーケット等で賄っている所がある。

**F:**

- ・もらっていないクラブはない。足りない部分は年会費、ニコニコ。川名
- ・もらってないクラブはない。年会費。交通費は実費。高橋
- ・どのクラブももらっている。築館
- ・補助も年会費もある。地区の事業費。フリマ。佐藤
- ・補助している。他は自分たちで。篠原
- ・補助、ニコニコ、例会参加の登録費。片山"

**G:**

- ・人頭分担金について
- ・アクト側から自分たちで払う ・金額次第ではロータリアンから援助も? ・RAC とスポンサーRC 間の交渉による
- ・自主性に任せる ・金額が大きくなってきたらどうするのか?
- ・RC からの援助を受けられている。自分たちで活動資金を集めるという活動を知る必要が

あるのでは？

- ・ 理念的な問題と現実的な問題を分けて考える必要がある
- ・ 理念：自分たちで資金を作る。財政を自主的に構築する
- ・ 現実：今すぐ作れるのか？仕組み・体制をどうするのか？
- ・ ランニングコストの維持だけで精一杯になるのではないか。
- ・ 会員費を増やす。スマイル・バザー収入等で安定収入があるクラブはある→「自立している」といえるのか？
- ・ 長期的な視点は必要である。現状の中でやりくりする方法も探る ・ アクト側・・・会員増強をしたい+自立心のあるアクターを集めなければならない
- ・ 海外 RAC の活動例から資金調達例を学ぶ。 海外のアクターと違う状況にあるということも認識も持つべき
- ・ 収入面だけでなく、支出面を見直すキッカケに

**H:**

- ・ 2660：ない。大阪 RAC は地ビールを作ってチャリティー販売として、売り上げを活動費として利用しています。
- ・ AD 近藤：ロータリアンもアクターも意識を改革する必要がある。2029 までに 100 万人のアクターを目標しています。
- ・ 2750：PBG については、複数スポンサークラブがスポンサーしているが、募金活動を積極的に行い、それを活動として利用している。サイパン RAC については、政府からの補助を頂いています。国内 RAC は、RC からの補助金を除く、各アクターは年会費を支払っています。1 つ RAC は、スポンサークラブが RAC なので、年会費だけで活動しています。
- ・ 2550：基本的に RAC 自分たちで賄う。留学生の居場所作りのための社会奉仕活動、地区補助金の申請等を行い、それを活動費として利用しています。
- ・ 2820：クラブによって予算が異なる。いただいている金額の差も大きい。特に現時点では活動費を作る活動はしていないが、積極的に考えていきたい。

**I:**

- ・ 2650：自分達で賄っているクラブはない。財務活動を実施するも残るもわずかな収入。会費（年間 3～5 万円）のほとんどは例会場の食事代、場所代。京都市内はホテルでの例会も多く会費は高いが飲食費に消えている。人頭分担金はクラブ会員負担（会費は変わらずとも支払っているという意識づける）。
- ・ 2760：RAC-1 グランプリを一昨年から開催。最優秀賞は 30 万円という賞金を出して奉仕活動のプレゼンを行い、刺激を与えている。自治体を巻き込んだ活動を可能にしたという例もある。
- ・ 2720：自分達で賄っているクラブはない。金銭的自立を目指すなら活動も大きく変わる、会員の構成としてサラリーマンが多いというところから変わる必要があると思っている。会費は年間 2 万円前後。人頭分担金はスポンサークラブに任せているが地区としては個人で払うようお願いをしている。
- ・ 2700：自分達で賄っているクラブはない。活動費を賄うため自分達で祭を企画するなど、行動はとっている。手元に残るお金は少ない。変わろうという意識は出てきた。
- ・ 2500：ガバナー(地区)からの助成金を活動費にあてている。新しく衛星クラブが出来た。



必要経費を自分達で捻出できるように刺激を受けてもらえたらと思っている。

- ・ 2690 : 地区から予算を出している。地区 RA 代表からは増額要望あり。
- ・ 2590 : 自分達で賄っているクラブはない。スポンサークラブ 9 割、会員 1 割の費用負担。地区運営は地区からと各クラブから分担金で捻出。人頭分担金は各クラブにお任せをしている。

#### 議題 4. RAC がグローバル補助金を知る機会がありますか?またグローバル補助金を申請しているクラブはありますか?

##### A:

- ・ 2530 佐藤 DG : GG について説明は行ったが、RAC が GG を使用するためには「過去に GG を使用した事業を RC と行った」実績が必要
- ・ DG としてはスポンサークラブ・RAC 双方に対して、共同事業を推奨している。
- ・ 2800 依田委員長 : まだまだ行き着いていない。GG…とは…? という状況だと思う。過去にモンゴルの RAC との交流などはできていたので、ロータリーとの関係性をちゃんと構築できれば、良いと思うが… (まだまだ厳しい)
- ・ 2710 中野委員長 : GG について知っている RAC ・知らない RAC の双方がある。次年度に申請できるよう、今年度は GG について勉強する準備
- ・ 2580 春木 DRR : 昨年、鈴木ひろみさんが複数地区・複数クラブで GG を学ぶ例会を開催した。RLI・財団セミナーなどに参加していく。
- ・ 2760 岡田研修委員 : まずは GG を申請する RC が圧倒的に少ない。申請のフローが煩雑 + 中長期な事業が求められるので、かなりレベルが高い。
- ・ ローターアクターが今後 2-3 年で GG を活用できるのかというのは疑問。よって当分は RC に相乗りになるのが落としどころか。
- ・ 2790 橋岡様 : GG などに精通したロータリアンがいるかどうかが重要。
- ・ 2530 佐藤 DG : 援助国側であれば難易度が低い。
- ・ 2790 地区ではほとんど援助国として GG 活用している。"

##### B:

- ・ 2670 していない アクトがセミナーにでてもらっている
- ・ 2570 情報を持っている
- ・ 2720 アクトが参加した 戦略計画で 3 年計画で補助金を申請してもらうように計画している
- ・ 2820 している 前年度からセミナーに会長と幹事が出席するようにしている→RC と共同で行う、事業コンテストを行う ガバナー指示がある
- ・ 2500 今年度からセミナーに参加してもらうことになった。昨年から動き始めた 4 月の第一回会長幹事会にて補助金委員会に依頼したら RC からだと言われたので延びている 別途勉強会していきたい
- ・ 2630 今年度から 1 1 月のセミナーに参加してもらう 代表・会長幹事
- ・ アクトが補助金使うのは賛成 むしろ旗を振ってあげなきゃいけない
- ・ 2620 2019 年から代表に出席要請があった、2020,2021 はなぜかなかったが今年



度はアクトの地区 RA 委員長が出席した 地区内はないが静岡 RAC は静岡 RC とやろうとしている

### C:

- ・ 2770 : 全然浸透していない。
- ・ 2500 : R Cの方が口頭でお話されていたときに知る。一部の地区役員が知っていて、詳しく知る機会はない
- ・ 2620 : 地区補助金に関しては合同でできているところもあるが、グローバル補助金はあまり利用していない(手を出しづらいのか?)。次年度以降はR Aにも声がけして強化していきたい(という気配が地区である)
- ・ 2790 : 地区補助金は利用しているがグローバルは皆無
- ・ 2750 : R A Cが各地区と MOU (補助金利用の契約のようなもの) を結ばないといけないうものもありほぼできていないのでは
- ・ 2650 : R A Cを交えて補助金に関しての話し合いをしてはいるが、話のスケールが大きすぎてR A Cでは想像しにくい。過去にR Cとグローバル補助金を利用した経験がないとグローバル補助金の申請権限がないため、どのクラブも実施できていない。R Aにもっと情報共有をしていきたい

### D:

- ・ 情報すら地区に回りきってない現状で、グローバル補助金について知っている会員はほぼいない。
- ・ 何人かの地区役員のみが知っている現状で、そういう地区ばかり。
- ・ 使用例がない地区も多数で、知名度はそう高くないことが判明した。
- ・ グローバル補助金に触れるセミナーがあったら積極的に参加すべきだけど、地区役員に回っていないケースが結構多いことが分かった。

### E:

- ・ 野本 グローバル補助金の申請が出来る事を説明しているので、出来るという認識は各クラブある。申請するには至っていない。
- ・ 間石 財団関係の情報は伝えている。
- ・ 北條 まだ地区内では話が出ていない。
- ・ 星野 地区のR Cもグローバル補助金を活用出来ていない。R A Cの方が考え方が柔軟かいのでR A Cの方で活用出来ても良いと思う。
- ・ スポンサー R Cと共同で出したら良いのではと思う。
- ・ 板井 地区内のアクトではグローバル補助金の存在知らない。

### F:

- ・ セミナーへの参加。1クラブだけ申請している。川名
- ・ 知る機会も申請しているクラブもない。高橋
- ・ 今のところなし。築館
- ・ セミナーへの声掛け。準備できていない。佐藤
- ・ 現状なし。篠原



・毎年セミナー開催。大阪東RACグローバル補助金。モンゴル図書館プロジェクト。もともとはロータリーがやっていたが今年度はRAC主催でやろうとしている。各クラブへ共催できるか動いている。片山

**G:**

- ・2660 地区：2 クラブが申請。補助金管理セミナーへの出席。補助金を使用する資格を取得。
- ・外部へのアピールのみならず、会員のモチベーションアップへもつながる。
- ・補助金に対する認識はできている。情報の共有を徹底したい。活動的なクラブにとっては有効である。
- ・予算額の大きさについて 企画立案についてはRCやRAC同士の連携が不可欠。

**H:**

- ・2750：MOU 締結、補助金セミナーの参加もアクトお願いはしました。前年度から地区ロータリー、地区ローターアクト主催のセミナー、説明会も数回開催しました。
- ・2660：次年度に向けて地区補助金を申請するクラブがあります。
- ・2500：現状特にない。
- ・2550：現状特にない。
- ・2820：現状特にない。

**I:**

- ・2650：前年度から地区ロータリー財団セミナーに地区RA委員会のローターアクターが出席。独自で申請をするクラブはない。スポンサークラブから一緒に実施の声かけはあるが、コロナ禍で実現に至っていない。
- ・2720：地区からの案内はあるが、申請クラブはない。どうやったらいいのイメージがつかない。
- ・2700：ガバナー名での書類は出しているが、敷居が高い。グローバル補助金はロータリークラブでも難しい背景あり。
- ・2500：ローターアクト委員長を通して補助金事業の案内はあるが、具体的なイメージが湧かない現状。2～3年を目処に活用か。
- ・2590：グローバル補助金を知る機会はなかった。ネパール人元ローターアクターがクラウドファンディングで地震からの復興をしているという例もある。
- ・2760：財団セミナーにアクター出席している。説明はわかっても資金も含めてクラブとして取り組むことは難しい。スポンサークラブとのタッグをどのように組むことを考えていく。日本の場合はすぐに出来ないのでは。

**議題 5. 30歳の年齢制限が撤廃されましたが、30歳以上の会員はクラブに残っていますか？**

**A:**

- ・2840 片桐 DRR：コロナ前世代・コロナ後世代でかなり温度感が異なる。前者のリアル

開催が当たり前だった世代はおおむね 30 歳くらいで、

- ・ 過去の雰囲気伝えていただきたいため、少し卒業を伸ばしてもらっている。
- ・ 2710 中野委員長：各クラブは年齢制限が撤廃されたことは知っているが、変更したクラブはまだ 0。
- ・ スポンサー RC としては気になる話題。ローターアクターの意見を尊重したい。
- ・ 2800 依田委員長：Over age 会員がいないと成り立たない…という事実。撤廃していただいたので地区としては良い。
- ・ もっと早く撤廃してくれたらと思っていた。地区のローターアクト活動としては 30 周年になったので、会長・幹事の名簿の提出を依頼したが、収集できないところが非常に多かった…。
- ・ 2530 佐藤 DG：卒業したアクターを戻そう（再入会）としているクラブもある。
- ・ 2580 春木 DRR：35 歳が多い。28-29 歳くらいで入会してアクトにハマった人が活躍できる機会を増やしたい。
- ・ 2760 岡田研修委員：大学基盤 RAC（名古屋芸大など）は大学卒業とともに卒業になる。社会基盤については、活躍したアクター（DRR 経験者）などは残る傾向があるが、そうでない方は 30 歳で卒業する人が多い。

**B:**

- ・ 2630 年齢制限もうけているところもある 地区内で統一していない→35 歳くらいかな定款では定めていない
- ・ 2670 いろんな種類のクラブがあつていいと思う
- ・ 2720 わからない
- ・ 2570 大きな問題はないとおもうが、どこまでいくのか疑問である 全体的に会員数が減る中で撤廃も必要としたと思うが、きっちりしたほうが良いと思う
- ・ 2820 地区内でとりあえず 35 と定めた 32 さいとか何人かいる
- ・ 2500 各クラブで定めるようにしている
- ・ 7/9 クラブは 30 歳まで 2 クラブは 32、34 歳まで
- ・ 30 さいの区切りがあるから頑張っているという印象がある 卒業があるから楽しい
- ・ 2620 地区で定めていない 40 歳もいる
- ・ いる場合が多い。
- ・ 35 卒会だったり、地区代表、クラブ会長を卒業年度でやったら、卒会が次の年になる。・ 30 と決めつけられないという手もある。

**C:**

- ・ 2770：残っているが、クラブ細則はちゃんと決められていない。
- ・ 2500：RC から残ってほしいといわれている会員は残ることもあるが、基本的には 30 歳で卒会するクラブ・会員が多い。
- ・ 2620：RA の実情は不明。
- ・ 2790：クラブの細則によりけり。残っているクラブもある。
- ・ 2750：残っているクラブもあるが、基本 RC への入会を誘導したいという傾向がある。
- ・ 2650：残っている方もいらっしゃる。上限はクラブによりけり。

**D:**

**E:**

- ・星野 30 才では厳しいと共に、撤廃されても OBOG も戻ってこない。一度議論しても良いのでは無いかと考える。
- ・北條 今まで 30 才となっていたので、前年度は卒会者が多く、地区運営にも影響があった。
- ・ロータリーになる前の段階のクラブ（シニア RAC）を結成したら良いのでは？
- ・30 才以降の日本独自の段階を踏まえたクラブがあれば良いのではと思う。
- ・間石 30 才以上も環境的に出来る状況なのか心配である。30-40 才の方は元気なので支えていける形が良いのでは？
- ・夏見 お互いが必要となるアクトとロータリーとの関係性が出来ればと思う。
- ・野本 35 才までを目安としている。しかしながら 35 才で卒会しても RC へとはいかないと思う。
- ・板井 会員募集の幅は広げる事ができる。しかしながら動揺しているメンバーもある。

**F:**

- ・いる。各クラブで細則を決めるが、会長幹事会等で 35 歳までにしようとしている。川名
- ・各クラブで細則。いない。高橋
- ・卒業してロータリー。いるかわからない。築館
- ・クラブごと。佐藤
- ・各クラブに任せている。何人かいる。篠原
- ・各クラブ。RAC の卒業生で衛星クラブを作っている。40 からロータリーへ。片山

**G:**

- ・年齢制限については特段定めていないクラブ・地区が多い。
- ・年齢制限が撤廃されることのメリット・デメリットを把握しておくこと
- ・年齢制限撤廃において発生し得るデメリットを現実のものにしないための仕組みを作成する。
- ・クラブごとの状況に合わせてた規則作りを
- ・RAC と RC は別のものという認識を再度もつ
- ・なぜ年齢制限を撤廃したのか？その背景を認識をする。

**H:**

- ・2750 : 30 歳を守っているクラブが多い。PBG は年齢制限撤廃しましたが、国内クラブは現状維持しているクラブが多い。
- ・2660 : クラブによります。新設クラブは 35 歳に設けているクラブが多い。人数が激減しているクラブは臨時的にルールを変更しているクラブがあります。
- ・2820 : 35 歳くらいまで残っているクラブが多い現状。
- ・2500 : すべてのクラブは 30 歳のままにしている現状ですが、35 歳に伸ばしてもよいかもしれません。
- ・2550 : 年齢制限を設けないように変更しました。ただし、ロータリアンからの入会は認

めません。会員はルール変更によって増えました。

- ・2650：30歳以上の方々もRACで活動できるのではないかの考えです。
- ・AD近藤：RACとRCの目的が違うため、各自の考え方によりどちらかに入会する

**I:**

- ・2650：大半は30歳まで。23クラブ中2クラブは35歳、40歳までと引き上げたところもあり。
- ・2720：13クラブ中4クラブ引き上げ（2クラブ25、1クラブ40、1クラブ撤廃）、33歳以上は、今はいない。ローターアクトをしたいという人が長く残る傾向にあるのでは？
- ・2700：地区で纏めてくれないか？という意見が出て、スポンサークラブの委員長を集めて会議を実施。各クラブ間での意見が違うので委ねた。30歳の年齢制限をされているクラブが全て。
- ・2590：2年前にローターアクトに決めてもらった。30歳で卒業の依頼あり。ゴールがあるので頑張れる。
- ・2500：ほぼ全てのクラブで変更なし。衛星クラブ（33名で発足）には元RA会員が10名入会。
- ・2760：一つの目標に向かって頑張ってきたというほどのローターアクターにも言える。多少オーバーしてもいいよという柔軟な対応も必要か？"

（事務局注記：定款に倣い「提唱ロータリークラブ⇒スポンサークラブ」に訂正）

### 資料 03 : RT'n (ロータリアン) と RA't (ローター-アクター) の比率から見た RAC 会員数増強拡大目標値の提言 (出典 : YPLI 加入 DATA より)

図 1 は、RT'n 数及び RA't 数の 2022 年 1 月時点での集計 DATA です。RT'n 数の多い地区順に表示されています。図 2 は、RA't 数順に表示されています。RT'n に対する RA't の比率が一番高い地区は、D2660 で 7.1%となっており、次いでD2670 の 6.0%、D2580 の 5.0%と続いております。また、全国平均が 3.0%で、RA't 上位 10 地区の平均が 4.4%となっており、RA't 増強拡大目標値としては、全国平均未満の 21 地区に於いては、3.0%とし、次に 4.4%に満たない 9 地区に於いては、先ず 4.4%を会員数の増強拡大の目標値として推進することが必要かと思われます。

図 1 : RT'n 数順

RT'n人数 上位10位 2022.1.1時点			
	①	②	
地区	RT'n	RA't	②/①
2760	4,688	178	3.8%
2650	4,352	146	3.4%
2750	4,282	149	3.5%
2660	3,483	247	7.1%
2710	3,139	54	1.7%
2700	3,111	131	4.2%
2630	3,070	58	1.9%
2690	2,948	67	2.3%
2670	2,925	175	6.0%
2580	2,847	141	5.0%
2620	2,847	31	1.1%
2790	2,683	48	1.8%
2680	2,596	90	3.5%
2740	2,536	30	1.2%
2510	2,436	66	2.7%
2720	2,397	101	4.2%
2770	2,362	104	4.4%
2730	2,357	86	3.6%
2780	2,269	38	1.7%
2530	2,245	38	1.7%
2500	2,218	65	2.9%
2520	2,157	36	1.7%
2610	2,090	60	2.9%
2840	2,073	69	3.3%
2560	2,036	49	2.4%
2600	1,921	29	1.5%
2590	1,890	36	1.9%
2820	1,847	25	1.4%
2550	1,673	40	2.4%
2640	1,632	35	2.1%
2570	1,589	29	1.8%
2800	1,527	34	2.2%
2830	1,124	37	3.3%
2540	1,119	6	0.5%
	84,469	2,528	3.0%

図 2 : RA't 数順

RA't人数 上位10位 2022.1.1時点			
	①	②	
地区	RT'n	RA't	②/①
2660	3,483	247	7.1%
2760	4,688	178	3.8%
2670	2,925	175	6.0%
2750	4,282	149	3.5%
2650	4,352	146	3.4%
2580	2,847	141	5.0%
2700	3,111	131	4.2%
2770	2,362	104	4.4%
2720	2,397	101	4.2%
2680	2,596	90	3.5%
2730	2,357	86	3.6%
2840	2,073	69	3.3%
2690	2,948	67	2.3%
2510	2,436	66	2.7%
2500	2,218	65	2.9%
2610	2,090	60	2.9%
2630	3,070	58	1.9%
2710	3,139	54	1.7%
2560	2,036	49	2.4%
2790	2,683	48	1.8%
2550	1,673	40	2.4%
2780	2,269	38	1.7%
2530	2,245	38	1.7%
2830	1,124	37	3.3%
2520	2,157	36	1.7%
2590	1,890	36	1.9%
2640	1,632	35	2.1%
2800	1,527	34	2.2%
2620	2,847	31	1.1%
2740	2,536	30	1.2%
2600	1,921	29	1.5%
2570	1,589	29	1.8%
2820	1,847	25	1.4%
2540	1,119	6	0.5%
	84,469	2,528	3.0%

図 3 : RA't 上位 10 地区平均

RA't 上位 10 地区		
①	②	
RT'n	RA't	②/①
33,043	1,462	4.4%
39.1%	57.8%	
34地区に占める%		

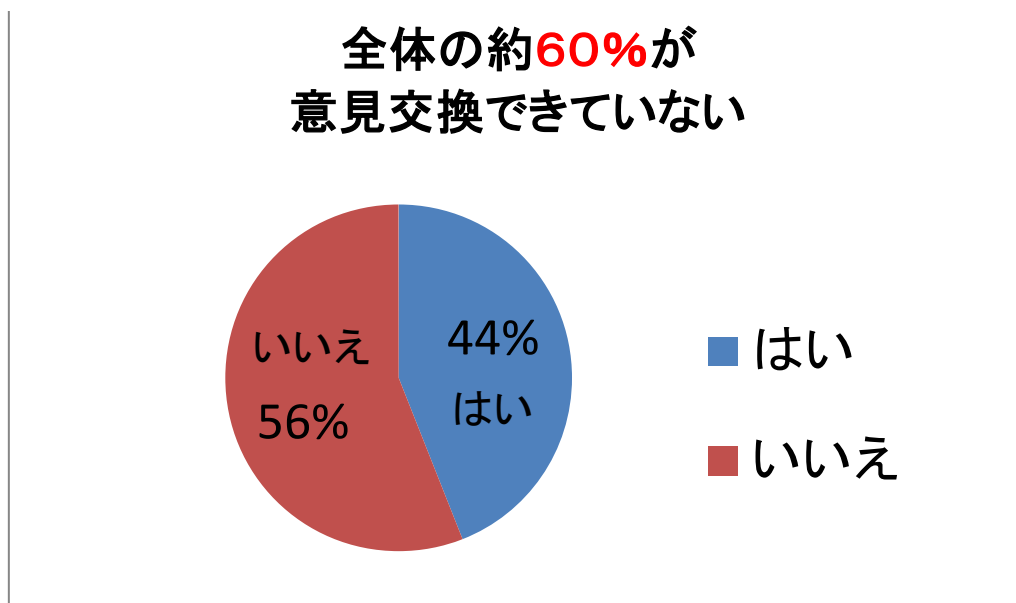
**資料 04 : 全国 RAC アンケート結果 :**

2022.8.7 の第三回 RA 合同会議開催前に、アンケートを実施。

アンケート実施期間 : 2022.7.1 より 7.30 まで

回答地区名					
2500 地区	2560 地区	2600 地区	2640 地区	2700 地区	2770 地区
2510 地区	2580 地区	2610 地区	2650 地区	2710 地区	2790 地区
2530 地区	2590 地区	2620 地区	2660 地区	2740 地区	2840 地区

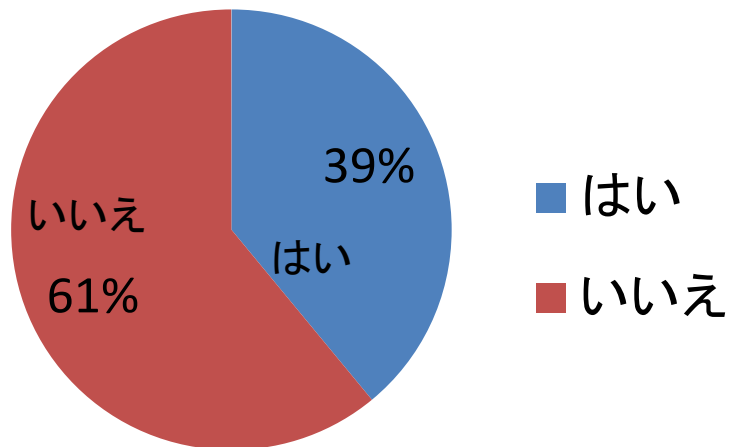
**問 1 : ガバナー・地区 RA 代表間で意見交換ができていますか？**



ガバナーと地区 RA 代表間で話した内容	
地区	話し合った内容
2500 地区	顔合わせ
2510 地区	RA 地区運営に関する相談
2530 地区	組織体制や RC との関わり方
2580 地区	○ガバナー方針の共有 ○RA 地区方針・地区ターゲット共有 ○地区内アクターの現状共有 ○地区方針のすり合わせ
2640 地区	RA 地区行事、地区大会について
2650 地区	地区方針・活動内容の共有後、意見交換
2840 地区	RA 地区運営について

問 2 : 活動費を自分たちで賄っているクラブ (RC からの補助を除く) はありますか？

全体の約**60%**が  
活動費の補助をいただいています

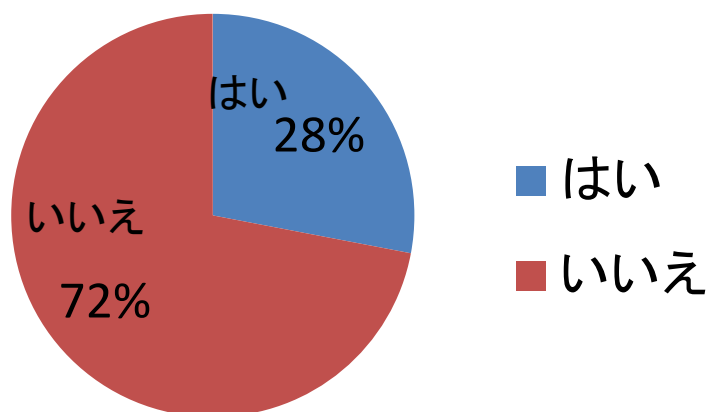


活動費の捻出方法	
地区	話し合った内容
2580 地区	10 年間 RC からの補助がなくアクターの年会費、ニコニコ、フリマなどで賄っているクラブがある
2590 地区	アクターの年会費
2600 地区	行事登録費の一部を自己負担金としてアクターに請求することにより活動費の調整を行っています
2610 地区	アクターの年会費
2770 地区	アクターの年会費
2840 地区	アクターの年会費



問 3 : RAC がグローバル補助金を知る機会がありましたか？

全体の**70%**がグローバル補助金を知る機会がありません



グローバル補助金を学ぶ研修	
地区	話し合った内容
2580 地区	RLI や、2022-23 年度は R 財団セミナーにアクターも参加可能（土曜日開催）
2600 地区	地区 RA 代表から会長幹事会にて説明
2660 地区	R 財団委員会が主催する財団補助金管理セミナー
2770 地区	アクト例会にて参加されていたロータリアンからの説明
2840 地区	地区 RC 主催の研修

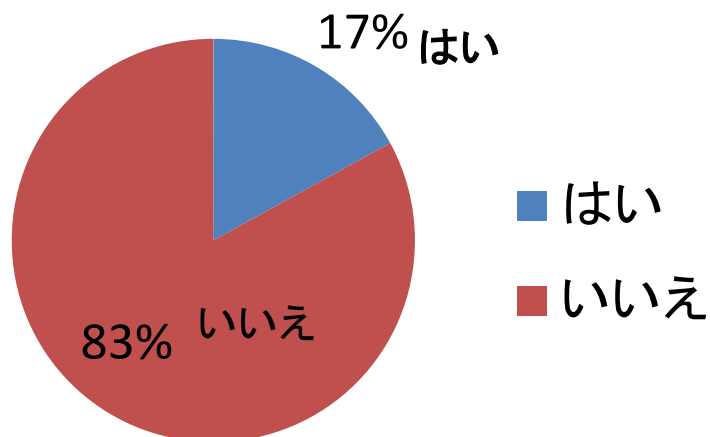
回答地区の 3 割が今後研修を行う事を検討





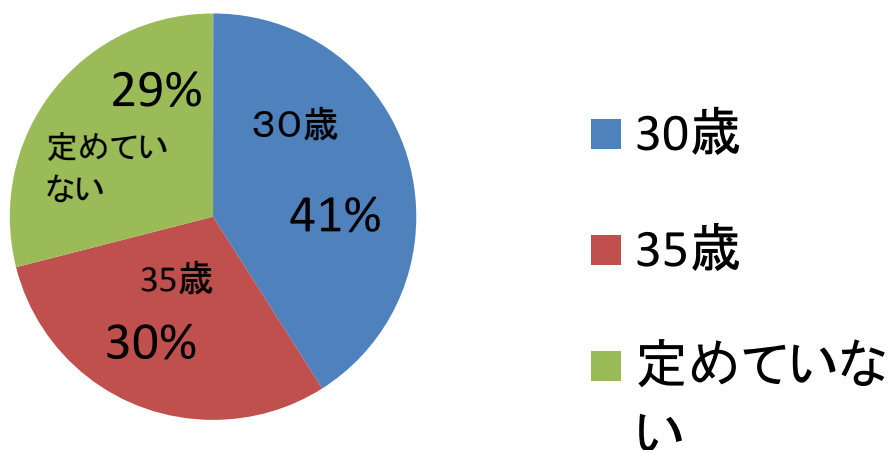
問 4 : 地区内 RAC でグローバル補助金を申請されているクラブはありますか？

**2クラブがグローバル補助金を申請しています**



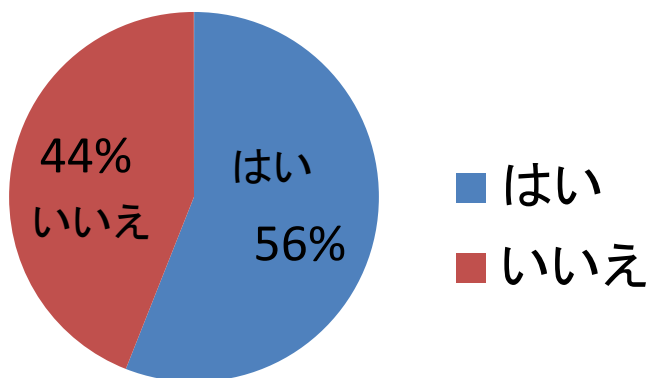
問 5 : 年齢制限撤廃に際し何歳と定めているクラブが多いですか？

**30～35歳を卒業推奨年齢と定めているクラブもありました**



問6：会員増強やクラブ運営について地区内でノウハウを共有する機会がありますか？

全体の**60%**は共有できている



会員増強・クラブ運営ノウハウ共有方法

地区	話し合った内容
2560 地区	会長幹事会、地区グループ LINE
2580 地区	会長幹事会、今年度は会員増強セミナーを開催したい
2590 地区	移動例会や合同例会にて楽しい行事を企画
2600 地区	指導者研修会
2620 地区	定期理事会や地区行事
2660 地区	リーダーシップフォーラム、親子会
2700 地区	地区研修会、会長幹事会、クラブでの研修会
2740 地区	セミナーを開催（講師：パスト代表、他地区会員）
2770 地区	会長幹事会
2790 地区	地区協議会



### 資料 05 : 各地区 RAC の活動報告 :

地区	2510	2590
地区 RA 代表	小椋圭修	中村琴美
地区ターゲット	原点回帰	猪突猛進
クラブ数 (前年比)	5 (0)	6 (1 : 休会)
会員数 (男・女)	29 (17・12)	39 (6 : 休会)
地区ベスト奉仕活動	<p>自転車リレー            概要 : 赤平-岩見沢-札幌-千歳-室蘭間を自転車で移動し、交通安全を呼びかける            結果 : 3 日間かけて赤平-室蘭ルート 246km (山手線約 7 周) 走破。</p>	<p>横浜南 RAC 『たばこの吸い殻拾い&amp;ウォーキング例会』            毎年恒例行事 : 道端に落ちているゴミを拾いながらをウォーキング。            ロータリー、インターアクトの方と親睦を深めることができる！拾ったタバコの重さを当てる。</p>
会員増強方法	<p>地元観光地と RAC について紹介したパンフレットを作成⇒まず、アクト活動について理解を得る</p>	<p>移動例会・合同例会を、積極的に実施。            楽しみながら何かを身に着け、魅力であふれるクラブづくり、地区づくりをする。            外部の団体とのコラボや、イベントでの出店をするクラブも</p>

地区	2600	2610
地区 RA 代表	草間可南子	中田悠貴
地区ターゲット	あゆみ	凌駕
クラブ数 (前年比)	6 (休会 : 4)	6 (0)
会員数 (男・女)	21 (17・4) 個人 8、企業 12 米山奨学生 1	25 (18・7)
地区ベスト奉仕活動	<p>松本 RAC 「提唱 RC の環境美化清掃への参加」：松本市は井戸が多い地域です。毎年、提唱の松本南 RC さんにお声掛けいただき、駅や商店街・松本城の近くにある井戸数か所と周辺のごみ拾いを実施しています。</p> <p>RC、RAC、IAC で同じ色のベストを着用して活動することで地域を綺麗にするだけでなく、「ロータリー」の PR も兼ねています。本年度は、8月28日に実施されます。</p>	<p>石川県を流れる犀川沿いに設置してある花壇の飾花や花壇の除草作業を行う。</p> <p>最初は単一クラブの活動だったが作業範囲も広く地区内クラブにも協力してもらい奉仕活動を行なった。</p>
会員増強方法	<p>提唱ロータリークラブの例会に参加してアクトの魅力伝えることで、ロータリークラブから会員を紹介していただいています。</p> <p>RYLA やロータリークラブの行事・清掃活動に参加して、ロータリアンさんやその時共に活動にしていたインターアクト生や社会人へローターアクトの存在を知ってもらうようにしています。本年度は、会員増強の一環として、インターアクト卒業生と昨年度の RYLA 参加者へ向けて8月21日に開催する「新人交流会」の参加募集をかけています。</p>	<p>目立った会員増強活動は行っていないが現在、地区内で新たなアクトができるという話もあり、クラブ運営への手助け等していく予定である。新しいクラブができ地区内にも活気が出るという</p>



地区	2620	2660
地区 RA 代表	稲葉徳磨	本田 丈歩
地区ターゲット	Originarity	UNITE
クラブ数 (前年比)	5 (0)	25 (+1)
会員数 (男・女)	46 (25・21)	225 (?・?)
地区ベスト奉仕活動	<p>◎富士山登山例会 (社会奉仕・国際奉仕)</p> <p>海外のロータリアン・ローターアクター・友好地区ローターを招待</p> <p>◎フィリピンの学校へ備品提供</p> <p>3地区合同事業。学校の選定、資金集め等2年がかりの事業</p>	<p>&lt;地区献血&gt;</p> <p>地区献血は第2660地区RAが1990年から約30年継続している伝統行事です。</p> <p>献血者数が減少する夏と冬の年に2回街頭で呼びかけを行っています。</p> <p>今年度も7月17日に開催し受付者数409名、献血者数342名と多くの方にご協力いただきました。</p>
会員増強方法	<p>◎地区・各クラブからの情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2620 地区ローターアクト Facebook <a href="https://www.facebook.com/RID2620shizuokayamanashi/">https://www.facebook.com/RID2620shizuokayamanashi/</a></li> <li>・静岡ローターアクトクラブ Facebook <a href="https://ja-jp.facebook.com/shizuokarac2620/">https://ja-jp.facebook.com/shizuokarac2620/</a></li> <li>・島田ローターアクトクラブ Instagram <a href="https://www.instagram.com/shimada_rac/">https://www.instagram.com/shimada_rac/</a></li> <li>・甲府南ローターアクトクラブ Facebook <a href="https://www.facebook.com/greenact.kofu/">https://www.facebook.com/greenact.kofu/</a></li> </ul> <p>◎提唱 RC からの紹介</p> <p>◎大学生向けの新歓イベント</p>	<p>&lt;会長新人会&gt;</p> <p>昨年度より新人と会長を対象に“懇親”を主とする会を開催しています。</p> <p>昨年度は「最高のデートプランとは?」、「懇親クリーンハイク&amp;BBQ」など新人会員が楽しみながら参加しクラブに定着するように活動しています</p>

地区	2700	2710
地区 RA 代表	森下 優	板井 貴大
地区ターゲット	POPUP	Let's connect!
クラブ数 (前年比)	14 (0)	7 (休会 : 2)
会員数 (男・女)	107 (64・43)	54 (?・?)
地区ベスト奉仕活動	<p>児童虐待防止活動 (ロータリー奉仕デー)</p> <p>商業施設にて児童虐待相談ダイヤルの 189 を広めるトークセッションやハーレー撮影、募金活動、パネル展示、メッセージの展示を行った。多くのメディアにも出て、子どもの村福岡へ募金も行った。</p>	<p>【ポリオ撲滅・ウクライナ支援募金活動】</p> <p>昨年度 4 月にロータリー奉仕デーという事でマツダスタジアム周辺で実施した。</p> <p>2710 地区ロータリー主催の募金活動。</p> <p>募金活動後は皆でカーブ観戦を行い非常に良き思い出となりました。</p>
会員増強方法	<p>地域のボランティア団体と合同で清掃活動 :</p> <p>他団体の活動に協力し、RAC を知って頂き入会につながるがあった。活動の際は、RAC のジャンパー等を着ることで地域への PR にもつながった。</p>	<p>現在在籍しているアクターが楽しいと思う活動もしっかりと行う事が重要だと思います。</p> <p>そうすることで楽しそうだな・私も参加してみようかなと思ってくれる人もおのずと増えてきます。</p> <p>当地区としては毎年恒例となっている国内研修を 6 月に鹿児島県にて開催しました</p>

地区	2750
地区 RA 代表	劉 韋岑 (Wilson Liu)
地区ターゲット	水滴石を穿つ
クラブ数 (前年比)	17 (休会 : 2)
会員数 (男・女)	264 (126・138)
地区ベスト奉仕活動	<p>『世界ポリオデー』トレインジャックプロジェクト： 2021/10/18(月)-24(日)の 1 週間、JR 各線の女性専用車の中吊り 広告を貸し切って 「END POLIO NOW」でジャックしました。またその電車広告掲載 を記念し、2021/10/24(日)に有楽町駅前広場にて駅前イベントを 行いました。</p> <p>本プロジェクトは、当地区ロータリーが主催（公共イメージ委員会 とポリオプラス委員会の共同実行委員会）し、第 2580、 2590,2770,2790 地区が共催しました。またサノフィ株式会社に協 賛、株式会社オクトンに協力いただきました。</p> <p>ロータリーが主体の行事でしたが、SNS での電車広告の広報活動、 駅前イベントでのブース運営や登壇など、様々な面においてロータ ーアクトも一緒になって企画・運営を致しました。</p>
会員増強方法	<p>当地区が取り組みました会員増強方法をいくつか下記にて紹介いた します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロータリーファミリーである米山、Rotex、RYLA、Interact と積極的に交流すること。</li> <li>・ロータリアンが経営されている会社やローターアクトクラブをスポンサーしていないロータリークラブにローターアクトの説明会を行うこと。</li> <li>・当地区の活動情報を積極的に発信すること等。</li> </ul>

地区	2770	2780
地区 RA 代表	山家汐理	石川 大
地区ターゲット	Borderless ACT	対話
クラブ数 (前年比)	9 (+1)	5(0)
会員数 (男・女)	75 (42・33)	31(23・8)
地区ベスト奉仕活動	<p>年次大会の企画の一環として、マダガスカルの Ilo Ivato RAC から、自然豊かなマダガスカルでも問題となる土壌侵食という環境問題についてオンラインクイズを通して発信。</p> <p>“海外でもすぐ繋がれる！”という RAC の良さを再認識した活動でした。</p>	
会員増強方法	<p>※他地区の成功例を基に始めました※</p> <p>ボランティア募集サイト、“Activo”に一部のクラブで掲載実施中。</p> <p>自発的な会員を継続的に募集できるため当地区でも成功例として導入中。</p>	<p>①若者が楽しいと感じるイベントに、ロータリーファミリーを呼び込む!!</p> <p>Ex) 米山 (学友)、ROTEX、インターアクト (学友) などの同世代を勧誘</p> <p>→RAC と米山、財団奨学生と掛け持ちの会員もいます</p> <p>②月に1回のバザーで街に繰り出し、知名度 UP!!</p> <p>例会案内で若い方に声をかける</p>